

真鴨と一緒にお米を作る農家!! 新潟県【百姓一揆 自然米（じねんまい）】のご紹介

農業法人 百姓一揆がある新潟県の安田町（現在は阿賀野市）。この地域は人口わずか1万の小さな町で、新潟県の北東部に位置し、現在でも昔ながらの酪農家が数多く存在し大自然の中で、「循環型肥料栽培」によって生活を営んでいます。この「循環型肥料栽培」のポイントは、稲作農家で発生した稲ワラのリサイクルです。発生した稲ワラを、まず酪農家が牛の敷きワラとして使用します。その後、使用した稲ワラ（牛糞ワラ）を、稲作農家が回収。一年以上完熟させ天然堆肥として、再度自らの田んぼに散布します。田園内に真鴨を放し、害虫や雑草を食べてもらうことで農薬や化学肥料を一切使わない「安心無農薬米」を完成させた後、刈り取った稲ワラを、再度酪農家が利用します。こうして、食に対する自然な循環（リサイクル）が確立しているのです。



「自然の中で人がまんなが」
 農業法人「百姓一揆」

農業法人 百姓一揆の由来とは・・・
 むかしむかし、自分の姓を名乗れなかった頃の時代は「大工の源さん」とか「髪結いの花」という具合に、職業がそのまま姓として使われてきました。その中でお米・酒・塩を作り、家も建てるという「百もの仕事をする人達」の総称を「百姓」と名づけたそうです。
 農業法人百姓一揆は、可能な限り新しい価値あるものを創造してみなさまに提供して行きたいと考えています。人にやさしい安全なお米を提供する信念を持ち、「お百姓さんのプロ集団」の自覚を持って邁進しています。



美味しいお米を生み出すのは、恵まれた自然環境と真面目な造り方。百姓一揆の苗は、ハウスで育てられます。その命の息吹に生命力を与える重要な役割をもたらすのが「水」です。この地域の水は、奥越後の山々に源を発する水質県下一の伏流水のため、苗に与えることにより力強い生育を促してくれます。次に田植えに入ります。酪農家から集めた天然堆肥を投入し、有機栽培で苗を植えていきます。その際に、育つ稲にストレスを与えないように、通常の6割程度しか苗を植えつけません。稲は常に繊細で、人間と同じようにストレスを感じると病気になったり、お米本来の旨味が抜けてしまうのです。加えて、真鴨を田園内に放ち、雑草や害虫等の駆除に一役買ってもらいます。こうして一切の農薬化学肥料を使用せずに、美味しいお米が出来るのです。通常の6割しか植えつけないので、収穫量は半分近くに減ってしましますが、安心して美味しく食べて頂く事を考えると、生産量は追えないのです。



百姓一揆の新潟自然米 こしひかり100% ・
 5KG入り ¥3,200-（消費税込み）この他に2KG入りも御座います。

新潟県
【百姓一揆 自然米（じねんまい）】
 5Kg入り 3,200円(消費税込み)
 2Kg入りもございます。

※ 百姓一揆は、「未検査米」です。
 農協・米卸業者を介さず農家さんとの直接取引の為、未検査なのです。
 米袋裏に「未検査米」と表記されています。